

わかりやすい道路案内標識に関する検討会

設 立 趣 意 書

平成16年6月

道路案内標識は、道路利用者に目的地への経路や地点等に関する情報を提供するものであり、道路交通の安全と円滑を確保するために欠くことのできない重要な施設である。道路が交通施設としてその機能を完全に発揮するには、利用者に対して種々の情報を提供する道路案内標識が適切に設置・管理されていることが必要である。

一方、道路案内標識は、道路利用者のニーズに即した情報提供を行わないと「わかりにくい」という批判が生じる。社会の進展に伴って利用者のニーズも変化するため、わかりやすい道路案内標識の整備は、道路管理者にとって常に重要な課題である。

国際化や高齢化の進展、景観・環境への関心の高まり、さらに観光立国への取組等、我が国の経済社会は大きく変化しており、こうした中で、道路利用者のニーズも一層多様化し、様々な意見も寄せられているところである。

以上のような状況を踏まえ、自動車・自転車利用者、歩行者、また、初めて訪れる観光客や外国人など、すべての道路利用者にとってわかりやすい道路案内標識のあり方について、利用者からの意見なども踏まえて、幅広く議論を行うため、有識者からなる本検討会を設けるものである。